

令和8年2月27日

令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	千代田区立千代田幼稚園
所在地	千代田区神田司町2-16

1. 活動のテーマ

<テーマ>

表現活動「造形」

第1回 手ぬぐいを作ろう

第2回 世界に一つだけの花

第3回 春駒を作ろう

<テーマの設定理由>

第1回

○布を使う活動をしたことがなく、講師からご提案いただいた。

○5月に地域の祭りがあり、各町会ごとに参加する子供たちが多数いた。その中で身に着けている手ぬぐいへのなじみがあると感じ、取り組みを実施した。

○10月の運動会で祭りをテーマに実施する計画を立てていたため、運動会でも生かせると思った。

第2回

○小学校との合同展覧会に向けての作品作りをしたいと計画をした。

○様々な素材を使ったり、工程を何段階か踏まえたりすることで、出来上がりへの期待感や個々の作品の個性が出ると考えた。

第3回

○紙粘土を使っの活動。手先を使いながら新聞を丸めたり、紙粘土をつけたり紙を貼ったりする中で、様々な素材に触れて作ることを楽しめると感じた。

○日本の民芸にも触れることができ、作ったもので遊ぶ活動ができると考えた。

2. 活動スケジュール

第1回 6月25日(水) 9:20~11:20を3グループに分かれて行う。

第2回 10月28日(火) 9:20~11:20を3グループに分かれて行う。

第3回 1月28日(水)・1月30日(金) 9:20~11:20を2グループに分かれて行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

第1回

第1回 【材料】無地の手ぬぐい・ビー玉・割りばし・輪ゴム・アルコール・スポイト・油性マジック

第2回 【材料】紙コップ・レースペーパー・マスキングテープ・京花紙・色和紙・薄葉紙・モール・油性マジック・絵の具 など

第3回 【材料】角材・ワイヤー、紙粘土・新聞紙・京花紙・ボンド・卵パック、牛乳パック、筆・丸シール など

【環境】場所：ホール 異年齢でグループを作る

設定：第1回・第2回は3～4名座り作業をし、全体を3グループに分けた。

第3回は2名ずつ座り作業をし、全体を4グループに分けた。

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

第1回

①手ぬぐいにビー玉や割りばしをゴムで括り付ける。

②油性マジックでここに色を塗る

③スポイトでアルコールをマジック部分に垂らす

④乾いてから輪ゴムを外す

第2回

①レースペーパーに薄く溶いた絵の具を2色～3色塗る。

②紙コップに油性マジックで色を塗り、鋏で縦に切り込みを入れ花卉を作る。

③レースペーパーを紙コップの周りに巻く

④モールを通し、京花紙や薄葉紙を刺して葉を作る。

第3回

①角材に新聞紙を丸め土台を作る

②紙粘土をつけて馬の形にする

③京花紙をボンドで貼る

④車輪を付ける

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

第1回

- マジックの色を自分なりに選んで組み合わせを楽しんでいた。
- マジックで塗ったところにスポイトでアルコールを1滴ずつ垂らすと、少しずつ滲み始める。「わー、色が広がった」「面白い」などの声が聞かれた。
- マジックの色が滲む様子をじっと見つめて、またほかの場所にアルコールを垂らす動作を繰り返して楽しんでいた。
- 「先生、見て見て」と滲んだところを見せに来たり、友達同士出来上がった作品を見せ合ったりしていた。
- 「ここを（輪ゴムで）留めたらどうなるんだろう」という声もあり、個によってより考えを深め、工夫しようとする様子も見られた。

第2回

- 何工程もある中で、出来上がっていく様子に期待感をもって取り組んでいた。あらかじめ講師から作る工程を説明されたことで、やることがわかり、見通しをもちながら作っていた。「次はどうするの?」と積極的に聞いてくる幼児が多かった。
- 花びらに見立てたレースペーパーに色を塗る時に、自分なりに考え丁寧に塗る様子が見られた。いろいろな色を提示したが、単色で塗る幼児もいた。絵の具は滲んでも全部塗らなくてもよいように促したため、「もう一枚塗りたい」「こんなに塗ったよ」と何枚も塗って重ねることを楽しんでいた。
- 葉となる紙を鋏で切ったり、手で割いたりして、様々な手法で作っていた。

第3回

- 作業行程を学年に応じて考慮したが、それぞれの学年ごとに興味、取り組みの様子が違い、夢中になったりじっくり取り組んだり、試行錯誤したり、工夫したりする姿が多く見られた。
- 新聞紙を土台にして紙粘土で形作る5歳児は、「難しいなあ」と言いながらもあきらめずにじっくりと取り組んでいた。紙粘土に京花紙を貼る時には、重ねて貼ることでしたの色が透けて見えるきれいに気づいたり「次はどの色にしようかな」と楽しみながらはったり、白い紙粘土の土台が見えなくなるまで隙間な

<活動の様子>

活動の様子が分かる写真を2枚以上貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)

第1回



第2回



第3回



5. 振り返り

(振り返りによって得た保育者の気づき)

第1回

- 失敗感なく取り組める作品であり、マジックで塗る、アルコールで滲む様子を見る、輪ゴムをほどいて出来上がりを見るなど、作品作りの行程の中で何度も楽しむことができた。
- 「なぜ滲むんだろう」という不思議さに出会ったり、5歳児は、「ここもこうしたい」と改めて輪ゴムを留めて繰り返し試したりする姿が見られた。
- 3歳児にとっては、輪ゴムを留めなくても、描いた絵にアルコールを垂らす様子もあり、“こうしなければならぬ”という工程ではなく取り組めることが、どの学年も抵抗感なく取り組める要因の一つだと感じた。
- できた作品は、運動会の表現で使い、お祭り気分を味わいながら喜んで参加していた。作ったものを飾るだけではなく他の活動に生かすことは、「作って遊ぶ」という日常の保育と同様であり、子どもたちにとって、自信や喜びにつながると考える。

第2回

- 失敗感なく取り組める活動であることが、子どもたちにとって意欲につながったと思われる。
- 偶然の仕上がりや個々の作品の良さにつながるとともに、自分の作品を見ながら、個々の振り返りにつながった。
- 区内で飾る連合作品展、幼小合同展覧会で展示する機会があり、保護者にも見てもらう機会となった。

第3回

- 学年に応じ作業行程を配慮したことで、限られた時間の中で取り組むことができた。
- 興味や進行状況に応じて時間をかけて取り組めるよう、個に応じた活動の場を保障したことで、周りを気にすることなくじっくりと取り組むことができた。
- それぞれの作品や取り組みの様子が生かされるよう、色合いや形、貼り方など個で認めていくことで、満足感を得ることができた。自分から考えたことや工夫したことを教師に伝える様子も多く見られた。
- 今回は2日間に分けて、作業時間を長くしたことにより、取組の時間がゆったりととれたことがよかった。

以上

令和8年2月27日

令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	千代田区立千代田幼稚園
所在地	千代田区神田司町2-16

1. 活動のテーマ

<テーマ>

表現活動
「フラダンスを踊ろう」

<テーマの設定理由>

○日常的に踊っているダンスや体操と違い、普段馴染みのない「フラダンス」を見たり踊ったりし、振りの意味する表現を知り、体験することで、異文化に触れることで国際理解につながると考えた。

2. 活動スケジュール

第1回 7月14日(月)
第2回 8月4日(月)
第3回 9月8日(月)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

○録画するための機器
○手具や衣装を作るための材料
マラカス・ウリウリ：ビーズ、空容器、どんぐり・紙皿・京花紙 など
レイ：京花紙・ストロー など
衣装：カラービニール、スズランテープ など
○環境：ホール

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

- 講師に踊りを見せてもらう
- 振りの意味を教えてくださいながら一緒に踊る
- 実際に使っている手具を見せてもらう。
- 手具や衣装を作る。
- 手具や衣装を身に着けて講師と一緒に踊る。

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

- アニメなどで聞き馴染みのあるハワイアン風の曲をはじめ、簡単な振りの曲を聞いたり踊りを見たりし、講師の踊りを見ながら自然に体を動かしている幼児がいた。
- 衣装を見て、「きれいだね」「私も作ってみたい」などあこがれの気持ちをもって見ている幼児がいた。
- 動画を見せるなど、ICT 機器も活用することで、保育の中でも真似をして、繰り返し楽しむ幼児がいた。
- 手具を作る時には、どうやったら同じものがいいのか、何度も作ったり、音を鳴らしたりすることを楽しんでいました。

<活動の様子>

活動の様子が分かる写真を2枚以上貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用してください。)



5. 振り返り

- (振り返りによって得た保育者の気づき)
- 本物の衣装や手具を見せてもらったことで、自分たちも作りたいという思いが深まった。
 - 年齢が高くなるにつれ、作りたいものへの興味や工夫、気づきも違っていった。
 - 回数を重ねることで、踊りを見せてもらうだけでなく、最終回では講師と一緒に踊る楽しさを十分に味わっていた。
 - 簡単な振りではあったが、意味があることを知ることによって、踊りを通して他国への興味も深まった。

以上

令和8年2月27日

令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	千代田区立千代田幼稚園
所在地	千代田区神田司町2-16

1. 活動のテーマ

<テーマ>

イメージの世界を楽しむ「パネルシアターを見る おはなしの会」

<テーマの設定理由>

○パネルシアターを通して、自分なりのイメージの世界を広げてほしいと思った。

2. 活動スケジュール

7月14日（金）10:00～11:30 で学年ごとに観劇する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【環境】場所：遊戯室

設定：パネルシアターの台、椅子 など

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

○学年ごとに2～3つの演目を観劇する。

○一緒に歌を歌ったり、言葉のやりとりを繰り返したりすることを楽しむ。

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

- スリーヒントクイズでは、子どもたちが次々と創造したこと、自分で考えたことを言葉に出したり、やり取りを楽しんだりしていた。また、繰り返しの歌が気に入り、保育室に戻ってからも友達と歌う姿が見られた。
- 「あめふりくまのこ」の歌に合わせたパネルでは、話の世界に引き込まれ、講師が操るクマの動きに集中して見ている。
- 講師がパネルシアターの作品を近くで見せてくれた時には、その仕掛けに興味深く見ていて、実際に触る子どもや、「私も作りたい」という子どももいた。

<活動の様子>

活動の様子が分かる写真を2枚以上貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用してください。)



5. 振り返り

(振り返りによって得た保育者の気づき)

- パネルという舞台を通して、様々なお話が展開されるパネルシアターは子どもたちにとってとても引き込まれるものがあった。講師の話の間合いや、目線、手の動きなどから、実際に動いているかのように見え、子どもたちがイメージの世界を存分に楽しんでいた。
- 参加型の演目では、パネルシアターのテンポ感、言葉のやり取り、歌などから、思わず言葉に出したくなる場面が何度もあった。創造することの楽しさや自由感がどの子どもにとっても、心温まる活動となった。年長児にとっては、自分たちもやってみたい、という興味にもつながった。

以上